

学校統廃合に伴う課題等に関する公民館関係役職員との意見交換会でのおもな意見一覧表(2)

No.	意見交換した事項	三保谷地区	出丸地区	ハツ保地区	小見野地区
		平成29年5月12日(金) 三保谷公民館 参加者(役職員)28人 出席者(主催側)11人	平成29年5月9日(火) 出丸公民館 参加者(役職員)23人 出席者(主催側)10人	平成29年5月13日(土) ハツ保公民館 参加者(役職員)26人 出席者(主催側)9人	平成29年5月10日(水) 小見野公民館 参加者(役職員)22人 出席者(主催側)11人
(2)	廃校跡地・施設を利用した活動について	<p>事務局の説明から受けた印象では、出丸公民館、小見野公民館の耐震強度が不足しているから、廃校後の施設に公民館機能を移すのがよいということかもしれないが、公民館の活動としては学校施設は広すぎる。現在の公民館施設は存続すべきと考える。</p> <p>アメリカでは、民間企業が地域活動に参加している事例もあることから、廃校後の跡地・施設の利活用にあたっては、民間との連携を視野に入れるべきと考える。</p> <p>地域社会の中核機能という側面が大事なのは分かるが、町の活性化を図る観点から、民間との連携を視野に入れるべきと考える。</p>	<p>施設の耐震性能を考慮した場合、公民館機能が、廃校後の跡地・施設に入るとは良いと思うが、維持管理については、よく体制等を検討する必要がある。</p> <p>廃校後の跡地・施設は、地域住民の自主防災の活動の場として、活用できなければならない。</p> <p>現在、三保谷小学校と出丸小学校の子供たちと一緒に自然学習している「三又沼ビオトープ」に関連した施設に、利活用を図ってもらえたらよいと思う。</p> <p>施設の安全面や老朽化対策を考慮すると、人が常駐していることが望ましい。</p> <p>跡地・施設の利活用の促進の観点からすると、道路や駐車場など周辺環境の整備も考える必要がある。</p>	<p>廃校後の跡地・施設の利活用は、廃校となる当該地区の住民だけでなく、町民全体が利用できる施設(例コミュニティセンターなど)にすると良いと思う。</p> <p>定住促進の観点から、学校を改修して、町営住宅にしたらどうか。</p>	<p>公民館の耐震化や修繕に費用をかけるより、耐震性に問題のない学校施設へ公民館機能を移すことは良いことだ。</p> <p>公民館だけでなく、区長会やスポーツ団体など各種団体に施設に入ってもらうことで、複合的な利活用が図れるのではないかと。</p> <p>施設の利活用を促進する場合、常に開放されている必要がある。</p> <p>地域コミュニティの中核として、公民館機能が学校施設に入ることは良いことだ。</p> <p>公民館だけに止まらず、収益性を重視した活用や子どもが遊べる環境(アスレチック設備など)の整備も検討してほしい。</p> <p>浸水被害に配慮した防災拠点としての整備も必要だ。</p> <p>「小見野小学校」という名称を残してほしい。</p>
	廃校後の施設での各利用団体の活動について		<p>現在、学校施設を利用している団体は、廃校後も引き続き、施設を利用できるようにしてほしい。</p>		<p>現在、学校施設を利用している団体は、廃校後も引き続き、施設を利用できるようにしてほしい。</p> <p>夜間でも、女性が安心・安全に利用できる環境整備も検討してほしい。</p>